



2020年5月1日

各 位

会社名 アストマックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 本多 弘明
 (JASDAQ スタンダード・コード 7162)
 問合せ先 常務取締役 小幡 健太郎
 電話 03-5447-8400

**2020年3月期連結業績速報値と2019年3月期連結業績との差異見込み
 および特別損失、法人税等調整額の計上に関するお知らせ**

2020年3月期の連結業績は、2020年5月15日（金）に開示の予定ですが、決算の概要がまとまりましたので、下記のとおり速報値としてお知らせいたします。なお、速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

この結果を受け2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）と2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績に差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期における特別損失および法人税等調整額の計上に関しまして、併せてお知らせいたします。

なお、各セグメントの概要説明は、5月15日に開示する2020年3月期決算短信にてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期連結業績速報値と2019年3月期連結業績との差異見込み

単位：百万円	2019年3月期 連結累計期間	2020年3月期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	増減の主要因ほか
営業収益	11,120	11,932	811	7.3	①ASTAM社の非連結化 (△1,873) ②ディーリング事業 (△58) ③再生可能エネルギー関連事業の製品売上高 (+987) ④電力取引の増加 (+1,655)
営業費用	10,960	12,098	1,138	10.4	①ASTAM社の非連結化 ②再生可能エネルギー関連事業の製品売上原価 (+934) ③電力取引の増加 (+1,634) ④ガス事業の先行投資 (+10)
営業利益又は 営業損失 (△)	160	△166	△326	-	
経常利益又は 経常損失 (△)	130	△185	△316	-	①営業損失 (△326) ②売却目的で保有している太陽光発電設備の売電収入 (+102) ③売却目的で保有している太陽光発電設備の減価償却費 (△56) ④持分法による投資損失 (△21)
特別利益 (※)	144	1,028	883	610.9	①ASTAM社株式の一部を追加譲渡 (944) ②東京商品取引所への株式譲渡 (68)
特別損失 (※)	68	229	160	233.4	下記の減損処理等を実施 ①地方創生関連事業 (98) ②2020年3月期に新規取得した株式 (69) ③海外取引所の会員権 (34) ④オフィスリニューアル費用 (24)
税金等調整前 当期純利益	206	613	406	196.9	
法人税等合計 (※)	△20	371	392	-	①法人税、住民税及び事業税 (268) ②法人税等調整額 (103)
非支配株主に帰属 する当期純利益	59	△2	△61	-	ASTAM社の非連結化
親会社株主に帰属 する当期純利益	168	243	75	45.1	

※「法人税等合計」には、「法人税、住民税及び事業税」と「法人税等調整額」を含みます。

※「ASTAM社」はアストマックス投信投資顧問株式会社を表します。

※「特別利益」、「特別損失」、「法人税等合計」の「増減の主要因ほか」の数字は、増減ではなく、実数値を表しています。

2. 2020年3月期セグメント別業績速報値

		2019年3月期 連結累計期間	2020年3月期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
アセット・マネジメント事業	営業収益	1,974	100	△1,873	△94.9%
	セグメント損益	168	△27	△196	-
ディーリング事業	営業収益	485	426	△58	△12.1%
	セグメント損益	10	△56	△66	-
再生可能エネルギー関連事業	営業収益	575	1,580	1,004	174.4%
	セグメント損益	7	34	27	350.8%
電力取引関連事業	営業収益	8,067	9,723	1,655	20.5%
	セグメント損益	△14	18	33	-
その他(※1)	営業収益	31	117	85	267.2%
	セグメント損益	△33	△32	0	-
調整額(※2)	営業収益	△14	△16	△1	-
	セグメント損益	△7	△122	△114	-
当期連結財務諸表計上額	営業収益	11,120	11,932	811	7.3%
	セグメント損益	130	△185	△316	-

※1 「その他」は、地方創生事業など、報告セグメント化されていない事業を示しています。

※2 「調整額」のマイナスの増加は、ASTAM社の非連結化に伴い当社で負担する管理コスト等が増加する等、
 全社費用が増加したことによります。

3. 特別損失の計上について

2020年3月期に主に以下のとおり減損処理等を行い、合計229百万円の特別損失を計上しました。

- ① 2018年3月期以降出資している地方創生関連事業（その他事業）：98百万円
 地方創生関連で出資している設備の減価償却と将来の収益見込みが見合わないこと等により減損処理をすべきと判断し、98百万円の特別損失を計上いたしました。
- ② 2020年3月期に新たに取得した株式（電力取引関連事業）：69百万円
 電力取引関連事業の今後の戦略の一環として2019年12月に一般事業会社に200百万円の出資を行いました。今期末時点における将来見積もり可能なキャッシュ・フローを保守的に算出の上、減損処理を行った結果、69百万円の特別損失を計上いたしました。
- ③ 海外取引所の会員権（ディーリング事業）：34百万円
 ディーリング事業で使用している海外取引所の会員権の価格が簿価から50%以上下落したため、評価損34百万円を特別損失として計上いたしました。
- ④ オフィスリニューアル費用（グループ全体）：25百万円
 ASTAM社の事務所移転を契機に、コミュニケーションを取りやすく且つ働きやすいオフィスにリニューアルいたしました。これに伴う残存設備の償却等により25百万円の特別損失を計上いたしました。

4. 法人税等調整額の計上について

主としてアストマックス株式会社における、ASTAM社株式の一部譲渡が実現したこと等を受けて、繰延税金資産95百万円を取り崩したこと等により、法人税等調整額を103百万円計上いたしました。また、アストマックス連結納税グループとして法人税等268百万円が発生しております。

以上